福岡市 Well-being＆SDGs 登録制度：マスター

事業者名	株式会社 NCB リサーチ&コンサルティング
代表者名	廣田　眞弥
所在地	812-0027 福岡市博多区下川端町 2 番 1 号
電話番号	092-282-2662
ホームページ	https://www.johoza.co.jp

Well-being 向上に向けた取組み	・テレワーク制度、時差出勤制度を導入し、柔軟な働き方の支援に力を入れている ・仕事と家庭の両立のための充実した制度を設けており、育児・介護休業中及び復職後の従業員の支援等に取り組んでいる ・労務管理ルールを設け、長時間労働の是正に取り組んでいる ・メンタルヘルスの相談窓口を設けている		
アンケート実施	○	**アンケートの社内共有**	○

SDGs達成に向けた取組みチェックシート

カテゴリ	チェック項目	3側面該当			具体的な取組	関連する主なSDGs															
		環境	社会	経済		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	**【ダイバーシティ経営の促進】** ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ 等）が、十分に活躍できる環境が整備されている。		○	○	・年齢や性別、身体の状況に関わらず多様な人材が活躍できる職場 づくりを促進している。 ・中高年者を積極的に採用している。					○			○		○							
人権・労働	**【多様な働き方の促進】** ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を 導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。		○	○	・テレワーク制度の実施や、時差出勤制度を導入するなど、柔軟な 勤務形態をとっている。 ・治療や介護、子育てと仕事の両立を支援する制度を導入している。					○			○		○							
人権・労働	**【人権の尊重】** ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、 ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。		○	○	・ハラスメントに対する相談窓口を設置している。 ・全従業員を対象に人権問題やハラスメントの防止に関する勉強会を 定期的に実施している。					○			○		○						○	
人権・労働	**【従業員の心と体の健康への配慮】** ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に 取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。		○	○	・労務管理ルールを設け、長時間労働の是正に取り組んでいる ・メンタルヘルス相談窓口を設けている。 ・全従業員を対象にメンタルヘルスに関する勉強会を定期的に実施 している。			○		○			○									
人権・労働	**【人材育成】** ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を 提供している。		○	○	・研修の受講奨励や研究機関等への派遣を行っている。 ・若手や中途採用従業員向けにメンターが指導を行っている。 ・地域の中小企業の社員に対する職業に関する研修・セミナーを 年間数百回実施している				○	○			○	○								
環境	**【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】** ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に 努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	・古紙、金属缶、ガラスびん、プラスチック、電池等について、分別 回収ボックスの適正配置等により、ごみの分別を徹底している。 ・従業員のマイバッグやマイボトルの利用を推進している。 ・グループウェア導入やデジタル機器の活用により、紙使用を極力 削減している			○			○					○	○		○				
環境	**【温室効果ガスの排出削減】** ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、 温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○		○	・クール／ウォームビズによる冷暖房の使用抑制など、エネルギー の効率的な利用を行っている。 ・LED照明を導入している。 ・社員に公共交通機関による移動を呼び掛けている。							○					○	○				
環境	**【生物多様性、天然資源への配慮】** ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか 確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○		○	・地産地消を推進する商談会イベント等の開催支援（事務局として運営） を行っている。						○						○	○	○	○		
環境	**【水資源の有効活用】** ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に 努めている。	○			・従業員への節水の呼びかけや節水型機器を設置するなどして、 節水に努めている。 ・雨水貯留タンクの設置等により、雨水利用を行っている。						○											
製品・サービス	**【製品・サービスの安全性】** ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための 仕組みを構築している。		○	○	・サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。 ・研修・セミナー等提供するサービスの質を確保するため、アンケートの 実施などにより顧客の意見を常に聞いている。			○									○					
製品・サービス	**【社会課題解決】** ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップに より、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組 んでいる。	○	○	○	・自社の事業がどのような社会課題の解決に繋がるかを意識して 事業を推進している。 ・子ども、高齢者、障がい者、外国人など、誰もが使いやすいよう 配慮した教育・研修サービスを提供している。 ・少子高齢化等の社会課題解決を目指し、特定技能外国人材の 紹介サービス等に取り組んでいる ・中小企業の深刻な後継者不足に対応するため、M&Aの手法により 地域の事業・雇用を守る活動に取り組んでいる	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公正な事業慣行・組織体制	**【個人情報保護】** ・個人情報を適切に管理している。		○		・個人情報保護宣言（プライバシーポリシー）を策定し、個人情報の 正確性・機密性の保持と安全性の確保に努めている。 ・全従業員に対して情報セキュリティ対策等の勉強会を定期的に 実施し、意識の醸成に努めている。																○	
公正な事業慣行・組織体制	**【法令遵守】** ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する 体制・仕組みが整備されている。		○		・コンプライアンスを経営の最重要課題の一つと位置付け、「コンプラ イアンスマニュアル」を定め着実な実践に努めている。 ・法令違反行為等の早期発見・是正及びコンプライアンス経営の強化 を図るため、「内部通報規程」を定めるとともに、内部通報窓口を 設置している。 ・全従業員を対象にコンプライアンス勉強会を定期的に実施し、 意識の醸成に努めている。																○	
公正な事業慣行・組織体制	**【内部管理体制】** ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。			○	・経営理念を明文化している。 ・経営者が理念を持ち、適時、経営理念・経営目標を社員に説明し、 共有している。								○	○								○
公正な事業慣行・組織体制	**【事業継続、事業承継】** ・事故や災害などの発生のおける事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	・大規模災害やシステム障害等の不測の事態が発生した場合に おいても重要業務を継続するための業務継続計画（BCP）を 策定している。 ・緊急連絡網を作成し、緊急時の連絡体制を整備している。									○		○		○			○	